

第32回 金型関連技術発表交流会 開催のご案内

(一社)日本金型工業会中部支部
支部長 小出 悟
技術委員長 田中 幸好

初冬の候 時下益々ご隆昌のこととお慶び申し上げます。日頃より中部支部事業にご理解ご協力賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度「第32回金型関連技術発表交流会」を中部支部技術委員会主催にて下記の通り開催いたします。

金型関連技術発表交流会は、金型の設計、製造等に関する最新の技術情報を金型製造企業の皆様に提供する場として、中部支部会員企業の協力の下、中部支部技術委員会が主要事業の一環として開催しております。本交流会を通じ、会員企業、金型製造企業、金型製造に関わる企業の皆様が積極的な技術交流に努め、既存技術の改善、新技術の開発等に結び付けることができる場としてご活用して戴きたく存じます。

また、技術発表終了後、参加聴講者並びに発表者、技術委員による情報交流会も行いますので、是非多くの方々にご参加いただき、交流を深めていただきたく存じます。

経営者の方々のみならず、ご担当者の方々の積極的なご参加をお待ち申し上げます。

又、(一社)日本金型工業会会員以外の金型製造に係わるの方々の参加も可能でございますので、是非お誘いあわせの上ご参加いただけますようお願い申し上げます。

敬具

記

<日 時> 平成29年 2月10日(金) 午後1時30分～

<会 場> アパホテル 名古屋錦エッセイ 4階 旭の間

愛知県名古屋市中区錦3-15-30 地下鉄/東山線・名城線「栄駅」2番出口より徒歩約1分

<定 員> 50名

<参加費> ・技術発表会 無料
・交流会

(一社)日本金型工業会 会員企業=1名当たり3,000円、会員外企業=1名当たり4,000円

※当日受付にて徴収致します。

<申込方法> 裏面申込書を中部支部事務局にFAXにてご送付をお願い申し上げます。

返信先:(一社)日本金型工業会中部支部 事務局 FAXNo.052-937-9889

<申込締切> 定員に達し次第締め切らせていただきます。

参加申込を受け付けた方にはFAXにて受付票をご送付いたします。

<プログラム>

PM1:00 受付開始

1:30 主催者開会挨拶

1:35 ①「外観自動検査装置『GC-ACE』の開発」

(発表者 小松 雅光 氏:(株)サイベックコーポレーション 品質保証部 係長)

発表終了後、質疑応答 (～2:25)

2:35 ②「ThinkDesignが目指す『金型自動設計支援システム』によるITものづくり

～自動CAMとの連携でさらなる時短を実現～」

(発表者 和栗 正昭 氏:愛和システムソリューションズ(株) 代表取締役)

(発表者 佐伯 隆生 氏:(株)Hit-C 専務取締役)

発表終了後、質疑応答 (～3:25)

3:35 ③「電動サーボバルブホットランナーシステム搭載金型の検証

～望まれる金型メーカーへのアプローチ～」

(発表者 北山 直人 氏:立松モールド工業(株) 開発部 R&D 推進室マネージャー)

(発表者 長谷川 純 氏:立松モールド工業(株) 開発部 R&D 推進室リーダー)

(発表者 深澤 宏信 氏:HR S ジャパン(株) 日本代表ゼネラルマネージャー)

発表終了後、質疑応答 (～4:25)

4:30 聴講者に並びに発表者、技術委員による情報交流会 開催 (発表会会場後方)

6:00頃 情報交流会 終了

*各発表講演の要旨、参加申込書、質問等記入欄は、下記をご参照ください。

*質疑応答をスムーズに進めるために、事前に皆様からの質問等を募集します。発表者から当日に質問の答えをしていただけるよう進めております。どのようなことでも結構ですので、是非「参加申込書-質問等欄」にご記入ください。(都合上、当日すべての質問にお答えできない場合もありますので、お含みおきください。)

【発表講演内容要旨】

① 「 外観自動検査装置『 GC-ACE 』の開発 」

(発表者 : 小松 雅光 氏/㈱サイベックコーポレーション 品質保証部 係長)

自動車等の工業製品は、品質維持の為に外観検査を行っています。

従来の検査方法として、異品や欠品・キズ等の検査は、目視による官能検査に頼っていたため、人による官能検査から機械による検査の移行、省人化を目的とした検査体制の確立を行いました。

対象ワークの一番厳しい検査基準として、内歯サイクロイドギヤの側面キズがあり、官能検査で検査を行う場合、下流工程へ流出するリスクが高い事が懸念事項としてありました。

そこで、目視や感触による検査を自動化、画像検査によるキズ検出を自動的に行い、目視検査と同等に検出する為の外観検査装置システムの開発を目的としました。

結果として、検査員数 12 名から 4 名に縮小、検出タクト 1 個/60 秒から 1 個/4 秒に短縮することができました。また、DENSO 殿から 2015 年品質賞を受賞することができました。

② 「 ThinkDesign が目指す『 金型自動設計支援システム 』による IT ものづくり

～自動 CAM との連携でさらなる時短を実現～

(発表者 : 和栗 正昭 氏/愛和システムソリューションズ㈱ 代表取締役)

(発表者 : 佐伯 隆生 氏/㈱Hit-C 専務取締役)

ベテラン設計者のリタイヤに歯止めがかかりません。

後進が思うように育たず、業務に支障が出始めているとお嘆きを聞きます。

また、今お使いの設計システムを使い続けても、お客様の要求スピードについていけるかのご心配もあろうかと思われまます。

柔軟なモデリング機能で一世を風靡した「ThinkDesign (シンクデザイン)」は、アジア地区の販売サポート代理店網が一新されたのを機に、「モールド金型自動設計支援機能」を搭載。先行してご導入いただいた金型メーカー様からは、新人設計者でも設計工数の劇的な低減が実現できたとご好評をいただいております。

さらに、自動CAMで定評のある㈱セスクワ (㈱データ・デザイン) 製「WorkNC (ワークNC)」へのリンク機能により、「製品データ→金型設計→NCデータ化」の超時短も実現可能。

IT が支援する「ものづくり」の妙技をお伝えします。

③ 「 電動サーボバルブホットランナーシステム搭載金型の検証

～望まれる金型メーカーへのアプローチ～

(発表者 : 北山 直人 氏/立松モールド工業㈱ 開発部 R&D 推進室 マネージャー)

(発表者 : 長谷川 純 氏/立松モールド工業㈱ 開発部 R&D 推進室 リーダー)

(発表者 : 深澤 宏信 氏/HR S ジャパン㈱ 日本代表ゼネラルマネージャー)

弊社金型作り QCD 向上において、お客様の樹脂適応化拡大、新素材導入等の対応に努力しております。

そんな中、射出成形での電動ホットランナーシステムへの関心を持ち、INGlass グループ HRSFLOW 社の「FLEXflow システム」を搭載した研究型を製作して成形品質の確認、金型造りへの提案を日々施行錯誤して

います。

この H/R システムは電動サーボバルブによる樹脂流動制御を可能としています。

イングラスグループとは数年前より御付き合いが始まり現在は協業提携を結び活発な活動をしています。

Chinaplas2016、K2016 では HRSFLOW 社と弊社研究型で成形した製品も展示し、大変反響を得ました。

発表交流会では、FLEXflow システムの紹介と共に弊社の取組に対して忌憚のないご意見を伺いたいと考えて

います。

第 3 2 回 金型関連技術発表交流会 (H29.2.10) 参加申込書

(返信FAXNo. 052-937-9889)

参加者氏名	役 職	部 署	懇親会
			出 ・ 欠
			出 ・ 欠

会社名

TEL

FAX

<発表者への質問等>

発表者名	質問等
発表者名	質問等
発表者名	質問等

個人情報保護法に関する対応

ご記入頂いた個人情報は、本発表交流会の事務利用するとともに、聴講者リストを作成し、講師に手交します。